

も そうじゃ 令和7年11月定例会版

議会だより

2026.2
vol.85

令和8年2月1日発行(年4回)



「二十歳の集い」実行委員と対談

二十歳の思いを聴く！

2月定例会市議会の予定

日程	内容
2月24日(火)	開会
3月 2日(月)	一般質問
3月 3日(火)	一般質問
3月 4日(水)	一般質問
3月 5日(木)	一般質問・質疑
3月 6日(金)	委員会
3月 9日(月)	委員会
3月10日(火)	委員会
3月19日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

- 特集①** 総社市長への事務執行に係る提言…………… 2ページ
- 特集②** 災害対応初動訓練の実施…………… 2ページ
- 特集③** 新人研修レポート…………… 3ページ
- 特集④** 令和8年総社市二十歳の集い実行委員会との意見交換会… 3ページ
- 主な内容** 11月定例会市議会…………… 4ページ
- 一般質問…………… 6ページ
- 委員会活動報告…………… 14ページ
- 特集⑤** 新人議員あるある…………… 16ページ

表紙写真:二十歳の集いリハーサル(上・中)、二十歳の集い実行委員会との意見交換会(下)

「ふるさと納税」及び「そうじゃのお米支援補助金」の事務執行に係る提言を行いました。

令和7年11月18日、議長から市長に対して「ふるさと納税」及び「そうじゃのお米支援補助金」の事務執行に係る提言が提出されました。

これは令和7年6月6日のNHK報道「岡山 総社市の第三セクター虚偽申請で市から補助金受け取る」に端を発し、その後9月26日に総務省からふるさと納税対象の指定

取り消しを受けた一連の出来事について、今後の対応を要求するものです。

この出来事については市議会でも、総務生活委員会であるさと納税に関して、産業建設委員会がそうじゃ地食べ公社との関係性について重点的に調査・考察し、それぞれ取りまとめを行い、併せて監査を請求しました。

令和7年11月18日、大規模災害発生を想定し、議会災害対策対応要領に基づく訓練を実施しました。この訓練は、災害時に議会として果たすべき役割や連携体制を確認することを目的としたものです。

議員22名を3班に編成し、各担当区域で議員自身の安否報告と地域の被害状況の初動確認を行いました。

令和7年11月18日

総社市長 片岡 聡 一 様

総社市議会議長 三宅 啓 水



「ふるさと納税」及び「そうじゃのお米支援補助金」の事務執行に係る提言

令和7年6月6日付けのNHK報道「岡山 総社市の第三セクター虚偽申請で市から補助金受け取る」に起因し、市議会では「総社市に対する報道を受けての行動決議」及び「監査請求に関する決議」を議決、事象の真偽を究明するとともに、善処策に結びつけるための方策について調査を進めてきたところである。

調査では特に、「ふるさと納税の返礼基準」及び「そうじゃ地食べ公社との関係性(そうじゃのお米支援補助金のあり方)」について重点的に考察し、結果、地域農業を支えたいという当局の強い思いから行った事務執行であり、作爲的に指定基準に違反したものではないことを検証したところである。

しかし、総務省の判断では「3割ルールに抵触する」とされたことから、算定根拠や経費区分の明確化、また、地食べ公社との関係性・補助金のあり方についても、改善・透明化すべきであると結論付けたところである。

市議会としては、執行機関に対する監視機能が十分果たされていなかったことを反省し、市民からの信頼回復に努めるとともに、一層の地方自治の発展を目指し、議会機能の向上に努める所存である。

以上のことから、当局に対しては、下記事項を提言し、早急かつ確実な対応を求めるものである。

記

提言内容

- ふるさと納税について
2年先の復権を目指し、先物取引の取扱いも含めた適正な運用について検討を講じること
- そうじゃ地食べ公社との関係性について
農業支援のあり方について再度検証するとともに、公社との関わり方についても透明化を図ること
- そうじゃのお米支援補助金について
制度の見直しを図るとともに、書類等についてはチェック機能を強化すること
- 市民への説明責任について
此度の事案について、市民に対して丁寧かつ誠実に経緯と改善策を説明し、信頼回復に努めること

その後、市議会が改選され新たな顔触れとなりましたが、監査結果を受けて一定の結論を得たことから、全員協議会を経て提出することとなりました。

令和9年10月にはふるさと納税の指定取り消しが解除される予定です。同じ過ちを繰り返さないためにも、議会も気を引き締めて再発防止に取り組む所存です。

(溝手 宣良)

災害対策本部が設置され、その後、各班長から順次「全員無事」との報告が寄せられました。一方、「電話を待っていたが実際はLINEで届いていた」という事案もあり、情報伝達に課題があることが分かりました。

今後は、今回の訓練で見えた課題を踏まえ、市民の安全を守るため、議会として平時から備えを強化し、災害に強いまちづくりに貢献してまいります。

(林 恭一郎)

緊張の中、議場へ

市民の代表として初の臨時市議会が、令和7年10月2日、議場で開催されました。

深く一礼をして議場へ入り、指定の席へ。その日は、所属する委員会を決め、議長、委員長などの選出が行われました。今日から議員として働く、議員の席は傍聴席と違い緊張し、身の引き締まる思いでした。

市職員と共に総社市を

翌日からは、新人議員研修会が連日行われました。市役所職員の方と顔合わせ、各部署の役割や取組の紹介がありました。一緒に総社市を創っていきたいと思います。

総社市の施設を体感

総社市の施設見学では、常盤公園内備蓄倉庫で、危機管理課職員から災害時の対応など丁寧な説明があり、市民の命を災害から守る意気込みを感じました。続いて下水処理場へ。汚水をきれいにして高梁川へ流す仕組みがよく分か

りました。

地食べ学校給食センターえがおで施設見学の後、お昼に「うどん、牛乳、大学いも」を食べました。子どもたちには、「温かく、栄養満点の給食を提供してほしい」と感じました。続いて、消防署、昭和公民館、雪舟生誕地公園などを見学。社会見学気分です、楽しく学ぶことができました。



地食べ学校給食センターえがおの見学

身になる研修会に

研修最後は、議会的一般質問のオリエンテーションです。一連の流れや質問のポイント、言葉使いなど、実際に質問席に立っての練習では、緊張しました。

覚えることが多く、大変で

したが、多くの大切なことを学びました。身になる研修会となりました。(柴田 敏)



議場での一般質問の練習

二十歳の集い実行委員会と意見交換会を行いました

令和7年11月28日、二十歳の集い実行委員会と広聴広報委員会との意見交換会を行いました。

今回のテーマは『つばみ』で、成人して蕾を花開かせたいという思いが込められているそうです。

実行委員会へは、友人が入っていたので自分も入ったが、誰かがやらなければならぬ

と思ったと、頼もしい返答。

総社は、都会過ぎず田舎過ぎず、落ち着けるところが良く、住みやすい場所との感想。また、平成30年の豪雨災害時には、助け合う人々との深い繋がりを感じたそうです。

地域社会に対しての要望が何かあるか、との問いには、倉敷、岡山等への移動手段として電車の本数が少ないので、増便してほしい。また、世代を超えた交流があるイベント、経験が共有できるようなイベントがあればいいとのことでした。

市議会の印象については、高齢者が多く堅苦しい印象。何をしているところか分からないとのことでした。

市議会としては、今回の意見交換会での意見を議会活動の参考にさせていただき、この度二十歳となられる皆様には、今後様々なステージでのご活躍を期待いたします。

(大月 真一)

11月定例市議会

11月定例市議会を11月28日に開会し、議案31件、報告3件、陳情2件の審査をし、12月19日に閉会しました。

議案第75号工事請負契約の締結について

□総社市スポーツセンターさびじアリーナ外空調設備設置工事（建築主体工事）について、1億8065万3千円で株式会社風早が落札し、契約を締結しようとするもの。

議案第76号工事請負契約の締結について

□総社市スポーツセンターさびじアリーナ外空調設備設置工事（電気設備工事）について、1億6349万6千3百円で株式会社中電工総社配電センターが落札し、契約を締結するもの。

議案第77号工事請負契約の締結について

□総社市スポーツセンターさびじアリーナ外空調設備設置

工事（機械設備工事）について、5億8680万4625円で中村建設株式会社・有限会社フレヴァン特定建設工事共同企業体が落札し、契約を締結しようとするもの。

議案第78号総社市総合計画基本構想の策定について

□本市の計画的かつ総合的な市政の発展を図るため、令和17年度を目標年次とする総社市総合計画基本構想を策定しようとするもの。

議案第85号総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について

□総社中央小学校校区放課後児童クラブ施設の定員を変更することに伴い、条例の一部改正を行うものについて、全会一致で可決しました。

議案第88号総社市児童発達支援センター指定管理者の指定

反対討論もありましたが、賛成多数で可決されました。

について

□総社市児童発達支援センター指定管理者を指定しようとするものについて、全会一致で可決しました。

議案第89号総社市国民宿舍条例（平成17年総社市条例第189号）の一部改正について

□国民宿舍サンロード吉備路の入浴料等の料金を改定することにより、同施設の安定的な経営の一助とするため、条例の一部改正を行うものについて、全会一致で可決しました。

議案第98号補助金支出の追認について

□令和3年度及び令和4年度の補助金事務について、双方代理（※）の状態であったため、法的に解消しようとするもの。

賛成討論・反対討論がありました。賛成多数で可決されました。

議案第99号令和7年度総社市一般会計補正予算（第8号）

令和7年11月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	件 名	結 果
議案第69号	総社市職員給与条例の一部改正について	原案可決
議案第70号	総社市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第71号	令和7年度総社市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第72号	令和7年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第73号	令和7年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第74号	令和7年度総社市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第75号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第76号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第77号	工事請負契約の締結について	原案可決
報告第12号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
報告第13号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
報告第14号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
議案第78号	総社市総合計画基本構想の策定について	原案可決
議案第79号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第80号	岡山県市町村税整理組合を組織する市町村数の増加等及び岡山県市町村税整理組合規約の変更について	原案可決
議案第81号	総社市公会堂条例の一部改正について	原案可決
議案第82号	総社市自転車駐車場指定管理者の指定について	原案可決
議案第83号	総社市公民館条例の一部改正について	原案可決
議案第84号	総社市シルバーワークプラザ指定管理者の指定について	原案可決
議案第85号	総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について	原案可決
議案第86号	総社市放課後児童クラブ指定管理者の指定について	原案可決
議案第87号	総社市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決
議案第88号	総社市児童発達支援センター指定管理者の指定について	原案可決
議案第89号	総社市国民宿舍条例の一部改正について	原案可決
議案第90号	総社市砂川公園指定管理者の指定について	原案可決
議案第91号	総社市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第92号	令和7年度総社市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第93号	令和7年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第94号	令和7年度総社市国民宿舍事業費特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第95号	令和7年度総社市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第96号	市道の路線認定について	原案可決
議案第97号	市道の路線変更について	原案可決
議案第98号	補助金支出の追認について	原案可決
議案第99号	令和7年度総社市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
陳情第4号	国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書の提出を求める陳情	趣旨採択
陳情第5号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情	趣旨採択

令和7年11月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議員名		川 川	竹 竹	柴 柴	大 大	林 林	山 山	太 太	荒 荒	小 小	山 山	溝 溝	三 三	萱 萱	岡 岡	深 深	高 高	小 小	津 津	村 村	加 加	剣 剣	議 議
		仁 宣	下 かなこ	田 敏	月 真一	恭 一郎	名 正晃	田 善介	木 将之介	野 耕作	田 雅徳	手 宣良	上 周治	野 哲也	崎 亨一	見 昌宏	谷 幸男	西 利一	神 謙太郎	木 理英	藤 保博	持 堅吾	決 結果
議案第78号	総社市総合計画基本構想の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	補助金支出の追認について	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
陳情第4号	国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書の提出を求める陳情	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
陳情第5号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択

〔凡例〕○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 三宅啓介議員は、議長のため採決には加わりません。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

〔令和7年10月～令和7年12月分〕 (単位：円)


支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
土産等	11/17	8,800	在京総社の会
議長賞	11/26	20,000	総社市長杯卓球大会
4月からの累計		70,833	

□国で決定された「強い経済」を実現する総合経済対策において、0歳から高校生年代までの子どもに一人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給するための補正予算について、全会一致で可決されました。

※同一の人間が、双方の代理人となつて契約行為等を行うこと。

問 高齢化社会で単身高齢者が抱える課題も多く、終活支援のための条例制定はできないか

答 単身高齢者は、3038 世帯あり、全世帯の 11% 余りを占め、終活サポート条例は策定したい



たかやゆきお
高谷幸男

旧ユニチカ引込線について

問 旧ユニチカ(株)から寄付された用地の線路撤去と道路整備による開発はどうか。

市長 地元と協議し、道路整備を進めたい。

小・中・幼の再編について

問 国の適正規模、適正配置等統廃合を含め、子どもの教育環境を最優先に委員会等を設置し、体制の確立をしてはどうか。

教育長 各種特区と共に小規模特認校の指定を受け、それぞれ実績も上がっており、現在のところは現状の体制を続けたい。

中原川の洪水対策について

問 毎年毎年床下浸水などの災害が発生していることから、整備方針の変更も含め、改修すべきと思うがどうか。

市長 雨水渠の整備も含め実施したい。

総社駅周辺の活性化について

問 民間の力も借り、研究し、できる限り取り組みたいなどの考え方があり、市立地適正化計画での位置付けからも本腰を入れ、取り組む姿勢が大切と思うがどうか。

市長 具体的には余りできていないが、民間活力もお願いし、本腰を入れやりたい。


岡山県備中保健所の誘致について

問 以前設置されていた備中保健所を是非とも本市へ誘致すべきと思うがどうか。

市長 課題もあるが、両県議と相談してまいりたい。

問 今後の圃場整備をどう進めていくのか

答 先駆的に、手を上げてやっていくニーズには応えていきたい



おおたぜんすけ
太田善介

農業政策について

問 ニーズや農業従事者の世代交代もしていくなかで、現在の圃場で効率的な農業経営ができると考えるか。

市長 圃場の整備や集約化は必要だ。

問 人が少なくなっていく未来で農業はどうなると考えるか。

市長 大規模化、効率化することは必至だと思う。国の動向を見ながら農業政策を進めていく。

問 現存するパイプラインの更新などは考えるか。

市長 できることを進めていく。

災害時対応について

問 災害用通信インフラに衛星通信を導入してはどうか。

市長 衛星通信は大規模災害時有効なことは事実である。費用の問題もあり今後も検討課題としたい。

総社市公式LINEについて

問 総社市公式LINEのセグメント配信を防災無線のように利用できないか。


市長 責任の所在をはっきりさせれば可能だ。有益な方法だとも考える。

問 総社市公式LINEで詐欺・防犯情報などは流せないか。

市長 詐欺に対抗する総社市公式LINEをやっていききたいと思う。

問 清音地区の可能性をどのように評価しどのような将来像を描いているか

答 将来的に多くの人口が集積する可能性があり、総社市の南の玄関口の要衝であると考えている



はやしきょういちろう
林恭一郎

問 現在、清音地区で実施している事業、また、やろうとしていることはあるか。

市長 清音黒田支線3002号の舗装修繕工事、馬渡地区では、市街化調整区域を住宅建設可能なエリアにする、ということを地区計画で進めている。また、清音支所の空きスペースの有効活用について、地域の交流施設として活用できるように検討している。

問 清音を含め総社が発展していくためには、市街化調整区域の撤廃が不可欠であると思うが、どうか。

市長 農地の在り方について、市街化調整区域を市街化区域に変更していくことをやらねばならない。やれば総社は大きくなる。これから国に対してどんどん申し上げる。

問 防災無線は無理として、農村部に屋外スピーカーを設置し、時刻チャイムを鳴らすことを考えていただけないか。

市長 これは考えてみる。前向きに考えていきたい。

問 コミュニティと防災の情報伝達手段を兼ね備えたコミュニティ放送「FM総社」を立ち上げてはどうか。

市長 行政がやるのは無理だが、民間企業、集合体、FM倉敷の出張的なもの、これは考える余地はある。検討課題だと思う。可能性を追求して勉強していく必要がある。

一般質問

15人の議員が登場




期間:12月4日(木)～12月8日(月) 3日間
人数:15名
※発言順・氏名は下記のとおりです。

1 番	はやし きょういちろう 林 恭一郎 議員	6 ページ
2 番	おお た ぜんすけ 太田 善介 議員	7 ページ
3 番	たか や ゆきお 高谷 幸男 議員	7 ページ
4 番	しば た さとし 柴田 敏 議員	8 ページ
5 番	おかざき こういち 岡崎 亨一 議員	8 ページ
6 番	みぞ て のぶよし 溝手 宣良 議員	9 ページ
7 番	むら き りえい 村木 理英 議員	9 ページ
8 番	あら き まさの すけ 荒木将之介 議員	10 ページ
9 番	おおつき しんいち 大月 真一 議員	10 ページ
10 番	お の こうさく 小野 耕作 議員	11 ページ
11 番	かわひれ よしのぶ 川端 仁宣 議員	11 ページ
12 番	たけした かなこ 竹下かなこ 議員	12 ページ
13 番	かや の てつや 萱野 哲也 議員	12 ページ
14 番	やま な まさあき 山名 正晃 議員	13 ページ
15 番	やま だ まさのり 山田 雅徳 議員	13 ページ

問 東総社駅西踏切の改修はどうか

答 できるだけ早く、具体的な協議を実施する



むら き り え い
村 木 理 英

幹線道路の整備について

問 刑部三須線の延伸は、市主体で実施するべきと思うがどうか。

市長 県主体で実施してほしいところだが総社の未来を創る重要な道路であることから、市で実施することも視野に入れる。



問 総社大橋東詰め湛井堤防道路の整備について、国へ要望してはどうか。

市長 この道路は、重要な道路であるのでしっかり国へ要望してまいりたい。

土木担当員について

問 土木担当予算について、年間7億円を目標に増額してはどうか。

市長 令和8年度当初予算は、土木担当員の要望や工事進捗も勘案しながら、できる限り増額する。

問 道路行政を担当する職員の増員はできないか。

市長 増員に努めたい。

問 公園等のトイレを誰でも使いやすく整備してほしい

答 トイレの重要性は十分に認識している



みぞ て のぶ よし
溝 手 宣 良

公園や広場のトイレについて

問 利用状況はどうか。

市長 使用申請に基づき、R6年33,359人、R7年11月末で36,481人の利用がある。この他に散歩等での利用者数と、地域で管理のふれあい広場は把握できていない。

問 ご高齢の方や障がいのある方はトイレが水洗化・洋式化されていないため活動を控えている現状がある。生涯スポーツ・福祉の観点から早急な改善が必要と思うがどうか。

市長 私自身もそのような指摘をいただいたこともあり、その重要性は十分認識している。財政状況を見ながら、進めていきたい。

ふるさと納税について

問 停止処分の責任者は誰か。

市長 市長である私だ。

防災庁誘致について

問 進捗状況はどうか。

市長 内閣官房へ行き、誘致を懇願した。石破前総理がかつての総裁選時に総社市を例に防災庁の話をしたこともあり、内閣官房も記憶されていた。頑張りたいと思う。


情報発信について

問 特定の新聞にのみ総社市のイベントのチラシが入っていたが、購読する新聞によって得られる情報に差を付けるのはいかなものか。

市長 大変申し訳なかった。

問 物価高支援として来年度に向けての国推奨事業の中で市長の考えはどうか

答 公平・平等で考えたい。水道代も平等でありトランプ関税からみも考える



おか ざき こう いち
岡 崎 亨 一

物価高対策について

問 国の重点支援地方交付金の本市の配分金額はどうか。

市長 国会では可決していないが、推測として5.9億円となる見込みである。

幼小中の給食事業について

問 現在の中学校給食無償化での1食あたりの単価と全体でいくらかかっているか。

教育長 今年度は1食410円、全体で1億4千3百万円となる見込みである。

問 国が検討している小学校給食費の本市の対応はどうか。

教育長 報道による国の負担が1か月一人あたり4,700円と考えると市の負担は8千万円から8千5百万円になる見込みである。

問 幼稚園の魅力発信のためにも幼稚園の給食費無償化はどうか。

市長 全部タダというのはどうか。保育園はどうするかや、財政のこともあるので将来を見据え、もう少しゆっくり考えたい。

問 幼稚園は、存続させていくのか。


市長 当然、幼稚園は存続させていく。

問 公会計化の現状はどうか。

教育長 未収金は令和4年から延べ件数で約1,000件で、金額として430万円ある。すぐー等の連絡方法で徴収をお願いしている。

問 子育て世帯の支援として、子どもの医療費を18歳まで無償化できないか

答 適切な医療を受けることで病気の軽減はある。幅広い視野を持ち、将来的な課題として考える



しば た さとし
柴 田 敏

小学校給食費無償化について

問 給食の意義・目的は何か。

教育長 給食は、成長期にある児童生徒の、心身の健全な発達に資する、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要。学校給食の普及充実と食育の推進を図る。

問 意義・目的から、給食は学校義務教育の一環。小学校給食費無償化はできないか。

教育長 令和8年4月から国の制度設計の報道が行われてはいるが、給食費は全額国費で無償にすべき。国の動向を注視しながら、市として判断したい。

国民健康保険税について

問 均等割など制度の違いで、家族が多いほど税の負担が高い。18歳までの均等割を無くし、保険税の引き下げはできないか。

市長 市単独で税の引き下げはできないが、未就学児については、国が定める均等割軽減措置(5割の減免)がある。

問 国に対して、国民健康保険の国庫負担増を求める考えはないか。

市長 国へ対して申し上げていく。

難聴高齢者補聴器購入費助成事業について

問 補聴器で社会参加への意欲が高まり、認知機能・歩行の改善などの効果が得られる。助成対象枠を広げ、助成額を増やせないか。

市長 経済的な支援を持つ事業である。検討を加えさせていく。

問 公募型プロポーザルの条件に、地元の意見も反映されるのか

答 子どもの集う場所・地域住民が集う場所など地元の意見を聞きながら、公募型プロポーザルを進めていきたい



かわ ひれ よし のぶ
川 緒 仁 宣

人口減少地域のまちづくりについて

問 昭和地区を始めとする、人口減少地域のまちづくりをどのように考えているか。

市長 各地域の特性を生かしたまちづくりをしていきたい。

問 人口減少地域の学校園統廃合の考えはあるのか。

教育長 現在は考えていないが、この先そうなることもあるかもしれない。

旧維新幼稚園・小学校の跡地活用について

問 市長としてどう考えているか。

市長 地元の意見も聞きながら。願わくば、地元の方に納得していただける形を、根底に持っている。よく説明をしながら進めていきたい。

学校施設について

問 中学校・義務教育学校のトイレの改修・新設計画はあるのか。

教育長 洋式化率は中学校71.3%・小学校77.6%。洋式化を優先に進めていきたい。屋外トイレの新設計画はない。

問 総社東中学校のグラウンド整備はいつ行うのか

教育長 暗渠の埋込みには費用も時間もかかりグラウンドが半年以上使用できなくなる。現在南側の側溝を掃除して水はけが良くなった。北側がまだなので掃除をして様子を見たい。

※公募型プロポーザル：発注者が広く提案を募り、価格だけでなく、提案内容や企業の技術力、実績などを総合的に評価し、11で最適な業者を選定する方式

問 調査・研究の結果今後、軽部川はどうなっていくのか

答 国が清音古地地区において浸透対策と堆積土砂の掘削工事を1月から6月に行い、次年度も引き続き行う



お の こう さく
小 野 耕 作

総社市公式LINEについて

問 総社市公式noteの運用実績はどうか。

市長 54件の投稿がある。

問 総社市公式LINEを使って各地域づくり協議会の情報を発信してみてもどうか。

市長 検討していく。代替案でLINEのオープンチャットを上手く使ってほしい。

軽部川について

問 国が行った軽部川の調査・研究の結果はどうだったのか。

市長 浸水状況を再現した解析モデルをつくった。

問 国や県と協働していく上で本市としてできることはないか。(ゴミ問題)

市長 地元の方の協力も得ながら、何としてもゴミの流失は阻止したい。オイルフェンス設置については是非、相談に乗ってもらいたい。



国が堆積土砂掘削を行う軽部川

問 平成30年の豪雨災害からの復興状況はどうか

答 計画に基づき全てではないが、主要工事は概ね完了している



おお つき しん いち
大 月 真 一

豪雨災害からの復興状況について

問 防災拠点施設整備についてはどうか。

市長 日羽地区の防災拠点施設については設置に向けて、国庫補助を活用しながら、事業認定や調査、設計、協議など必要な準備を進めている。

問 市内避難所のバリアフリー化等の改善状況はどうか。

市長 避難行動要支援者が避難生活を送りやすいように、環境整備を順次計画的に行っている状況であり、できる限り精力的に将来的にも進めたい。

地域の草刈り支援について

問 地域の高齢化や人口減での草刈りの担い手不足に対し、人員確保体制の構築が行政主導で行えないか。

市長 人手不足対応のため地域への自由枠交付金の支給規定を見直し、人口減少地域へも単に人数割とはならないように支給額を考慮している。また、草刈り作業が機械化できるように本市でラジコン機を含め草刈り機を貸与向けに導入している。

問 草刈り未経験者への安全対策を目指した研修会の開催が行政主導で行えないか。

市長 本市からの貸与草刈り機が未経験者でも安全に操作でき、人員確保に資するように使い方教室を準備したい。

問 現在の市内の経済状況はどうか

答 非常に厳しい状態にあると認識している



あら き まさ の すけ
荒 木 将 之 介

問 市内の事業者を支援し働く環境を維持することは、世帯収入・税収を上げ行政サービスの充実につながる。そうしてさらに住みやすい環境になれば、人口増や新たな雇用の場も生まれ好循環が作られる。こうした好循環を作り、次世代によりよいバトンを渡すことは、我々の使命だ。事業者支援のために国や県の補助金の自己負担分を市が補助することはできないか。

市長 いろいろなケースがあるが、助成については考える余地がある。研究する。

問 先行きの見えない経営状況のなか、借入に躊躇する、また借入後も返済に追われる事業者のために、利子補給を行う考えはないか。

市長 非常に難しいが考える余地はある。

問 前向きに設備投資を行う事業者に対し、固定資産税(減価償却税)の免除・減免を行ってはどうか。

市長 税の公平性という部分において非常に難しいことではあるが、一考に値することは確かだ。

問 総社市は20歳代の人口流出が顕著だ。事業者の人材確保のため、また若者が定着する土壌を作るために、総社市で就職する若者に奨励金を出す考えはないか。

市長 高校生・大学生に定着してもらうことは喫緊の課題だ。重く捉えて検討する。

問 カスタマーハラスメント防止の全市的条例化を市はどのように進めるのか

答 まず市役所の基準を整え最終的に市内全体へ広げる総社モデル条例を目指す



問 市役所におけるカスタマーハラスメント(カスハラ)に対する現状認識はどうか。

市長 職員組合の調査結果や自身の経験から、職員が働きにくい状況だと認識している。

問 教育現場の状況はどうか。

教育長 意見や要望と不当な要求等の線引きが難しいが、過度な要求、正当な意見とは言い難いものは今年度に入り10件程度報告されている。必要に応じて学校と教育委員会が連携し、対応している。

問 教職員の声を聴く実態調査をしては。

教育長 教職員から管理職、管理職から教育委員会への報告体制を徹底しており、実態調査の必要性は感じていない。

問 市民(保護者)、職員(教職員)、市役所(教育委員会)の三者の責務を整理した、市独自のガイドラインを作成すべき。

市長 ガイドラインを作成し、市民にも公表することで、問題への共通理解を深める。

教育長 保護者に寄り添った対応を前提としながら、ガイドラインを活用していきたい。

問 条例制定に向けた進捗状況はどうか。

総務部長 他市の条例や対応方針を調査研究中で、現在は市役所においてのカスハラ防止対策のルールづくりに努めていきたい。

問 業界団体や労働組合の意見も聴くべき。

市長 幅広い意見を聞く諮問機関や専門家会議を早期に設置する必要がある。

問 市政の勉強会や、政策提言までを目指す「若者会議・若者議会」を行ってはどうか

答 政策提言までを含め、総社を変えていくということは、大いにやるべきである



日中一時支援事業について

問 障害者手帳を所持する者・療育に通っている一部の者が高い利用料金区分となっている件で、障害支援区分の設定や、利用者の負担割合見直しを考えてはどうか。

市長 現在まで柔軟に対応してきた。利用者の増加や市負担率も高く、持続可能な事業となるよう、実態調査をやっていききたい。

道路について

問 道路付属物であるラバーポールや反射板の設置箇所・破損・老朽化の現状を把握、更新は行っているのか。総社市公式LINEを利用した通報での把握は行わないのか。

市長 私もジョギング中に転んだこともあり非常に危ない。パトロール強化もし、市民の皆様にも公式LINEにて教えてもらいたい。

遊具について

問 夏場、高温となる公園遊具の火傷の可能性調査や、使用中止判断、高温対策状況は。

市長 管理業務の中で遊具の表面温度が上昇し火傷の恐れが高いと判断される遊具については、使用中止の掲示を行っている。また遊具更新時に可能な限り日陰となる場所や樹木の活用、素材の検討を行っていく。

問 学校園での遊具の高温対策はどうか。

教育長 遊具に対して寒冷紗を設置、屋根とし、高温化を防いでいる。樹脂製は耐久性の面もあり交換していくことは考えていない。

問 言っていることが分かっているのか。無茶苦茶なことを言っている

答 真面目に言っている



問 市民の血税が3割を超えた部分(8,500万円)に当てられた。ルール違反し、ふるさと納税の取消しを受けました。で、市民に謝罪は無いのか。

市長 誤解を生じたことにお詫び申し上げます。

問 誤解ではない。8,500万円は違法な支出に使われた。公社へ返還請求しなければ市民は泣き寝入りか。

市長 一方的に言われるが、違法ではないと認識している。

部長 3割を超える部分が法令違反となった。

問 総務省は、8,500万円は地方税法違反としているがどうか。

市長 公社の運営費だ。

問 公社が運営費の中で違法な支出をし、総社市は悪くないと言っているのか。

市長 「少なからず正当性がある」とした監査結果を受けた。

問 監査は地方税法違反を除き審査し正当性があるとした。市長はもう少し勉強した方がいい。ふるさと納税の先物取引の制度が悪いとして総務省に提言に行くのか。

市長 米を前もって確保するためだ。

問 利益を上げるために先物取引に手を出したのではないか。

市長 そうとばかりは言えない。

問 乳がんを経験し克服された方が体験を話す場、活動する機会を市としてサポートしてはどうか

答 乳がん検診受診率向上につながる。進めてまいりたい



乳がん検診について

問 毎年10月のピンクリボン運動、神が辻もライトアップしてはどうか。また新庁舎にピンク色の横断幕を設置してはどうか。

市長 検討する。

問 乳がんの術後、専用下着を着用してのサンロード吉備路のお風呂に入浴は可能か。

担当部長 入浴できる。周知していく。

動物愛護について

問 市内で登録されている15歳以上の犬は何匹か。

担当部長 551匹である。

問 狂犬病の予防接種を受けている割合は。

担当部長 76.9%である。

問 愛情を注いで飼育している家族と長寿の犬を表彰してはどうか。

市長 狂犬病の予防接種率も向上すると思う。考える。

道路改良について

問 ラウンドアバウト(環状交差点)は市内交差点での設置は見込めるか。

市長 普通の交差点よりも広い用地が必要である。また整備費に1億円見込まれる。今後研究していく。

総務生活委員会

《11月定例会》

当委員会では審査した案件は、11月定例会では議案7件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情2件は趣旨採択) 主な内容は次のとおりです。

●総社市総合計画基本構想の策定について(議案第78号)

問 第2次総社市総合計画(後期基本計画)の評価について、子育てや学校・幼児教育の分野の評価が芳しくないが、第3次総社市総合計画策定に向けて、こういった方策を考えているか。

答 未達成部分はどのような取組をすれば効果が出るかを検討し、第3次総社市総合計画に反映していく。一つずつ丁寧に対応していく。

◎質疑を終結した後、委員外議員から「総合計画は、30年・50年先を見据えた10年の計画であるべきで、それを踏まえて、もう少し市民からの意見

聴取が必要だったと考える。」

「無作為抽出のアンケートでは人口の少ない地域の意見が反映されているとは言えない。可決するには時期尚早と思われる。」との反対討論がなされましたが、採決の結果、委員全員一致で原案を可決すべきであると決定しました。

●令和7年度総社市一般会補正予算(議案第92号)(所管部分)

問 トイレカーの運用に当たり、業務の委託先は決まっているか。

答 トイレカーの運転、清掃・消毒については、総社市シルバー人材センターを予定している。また、し尿の処理、便槽の清掃・消毒については、市内業者である有限会社フレヴァンを予定している。

◆9月、11月定例委員会及び11月定例市議会会期中の委員会でも所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

について

産業建設委員会

《11月定例会》

当委員会では審査した案件は、11月定例会では議案9件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

●総社市国民宿舎条例の一部改正について(議案第89号)

問 入浴料が3割近く値上げとなっているが、その根拠は何か。また宿泊料はどうなっているのか。

答 入浴料の値上げは、安定的な経営の一助とするためである。宿泊料については、2年前の指定管理者の募集に合わせて値上げした。その際に入浴料の値上げも検討したが、日常的に日帰り入浴を利用する市民もいることから据え置きしていたものである。

●令和7年度総社市一般会計補正予算(第7号)(議案第92号)(所管部分)

・ふるさと納税について
・雪舟くんの現状と改善策について

報告事項

・第3次総社市総合計画の策定状況について
・豪渓駅前仮設トイレ設置について
・新生活交通「雪舟くん」の現状について
・総社市中期財政見通し(令和8年度・令和12年度)

文教福祉委員会

《11月定例会》

当委員会では審査した案件は、8月定例会では議案7件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

●総社市放課後児童クラブ指定管理者の指定について(議案第86号)

問 指定管理期間が5年間から3年間になることで、運営への支障や児童への影響はないか。

答 今後、継続的に安定した事業を行っていくことを一つの目的としている。先行きが不透明な状態で、4年目、5年目に支援員の不足などが顕著に現れてきた場合に運営が難しくなることが想定されるため、各運営委員会と協議した結果、3年間の指定が望ましいという結論となった。

また、その3年の間に、今後の放課後児童クラブを各小学校区で安定して運営していくために、どのような運営の形が望ましいかといった協議を進めていきたいと考えている。予算も適切に執行し、児童が不利益を被らないようにしていく。

●令和7年度総社市一般会計補正予算(第7号)(議案第92号)(所管部分)

問 障害者自立支援福祉サービス給付事業について、利用者及び利用時間が年々増加傾向にあることだが、主な要因は何か。

る。

◆11月定例委員会及び11月定例市議会会期中の委員会でも所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

・ため池の運用について

報告事項

・そうじゃのお米支援補助金について(11月定例委員会報告)

・国民宿舎サンロード吉備路改修工事の工程等について
・都市計画マスタープランの見直しについて
・水道料金・下水道使用料等の改定について
・工業用水の切り替えについて

・第3次総社市環境基本計画等の策定について

・そうじゃのお米支援補助金について(11月定例市議会会期中の委員会報告)

※代理権を有しない者が、他人の代理人として法律行為をすること。

答 施設入所支援に加え、地域で生活していこうとする動きがあるため、年々費用が増加している。

◆11月定例委員会及び11月定例市議会会期中の委員会でも所管事務調査を行った案件は次のとおりです。

調査事項

・子どもの居場所について
・障がい者千五百人雇用について

報告事項

・昭和公民館各分館の区域について
・社会教育施設の指定管理の更新について
・病院施設整備補助事業について(長野病院)
・会計年度任用職員(業務員・調理員)の給与の過大支給に係る返還状況について
・小規模保育事業所の設置運営事業者の決定について
・学校給食費の現状について
・乳児等通園支援事業の実施

新人議員あるある

★選挙では

- ・マイクの取り扱いするほど楽しかった
- ・選挙期間に入るまでが長かった
- ・準備も、提出物もたくさんあって大変
- ・アナウンスされる方に厳しく指導された
- ・暑かった。9月の選挙はきつい
- ・休憩に雪舟生誕地公園を使わせてもらった
(穴場 施設の中は涼しいし
きれい)
- ・初めの1、2日は緊張して
うまくしゃべれなかった



初めての世界に飛び込んだ新人議員5人の本音を聞いてみました



★生活では

- ・外でお酒が飲みにくくなった
- ・考えることが多すぎて眠れない夜がある
- ・SNS など知らない人からの友達申請が増えた
- ・市外で人に会うと総社市民かなと思ってしまふことがある
- ・交通ルールを守る意識が変わった
- ・先生と呼ばれて戸惑った
- ・総社市のこと、知らないことが多すぎる
- ・市民はよく見ている
- ・いろんなことが議員の耳に入ってくる
- ・すぐに着替えができるよう準備をしている

★議会では ...

- ・会議室や議場に入退出するとき一礼をする
- ・「異議なし」「なし」と言うときのテンポが遅れる
- ・「休憩します」と言われるので休憩かと思いきや...「休憩中ではありますが、この際〇〇します」と続いて、その後の説明などがあり休憩ができなかった
- ・男の人ばかりで怖くないかなと思ったが意外と皆さんやさしくて安心した
- ・初議会のときとても緊張してトイレに行こうと思ってたけど席を立つことができなかった



(竹下かなこ)

編集後記

このたび、市議会議員選挙を経て新しい7名のメンバーで広聴広報委員会がスタートし、今回が最初の議会だよりの発行となりました。

市民の皆様には「読みやすい」「わかりやすい」「身近に感じられる」紙面となるよう、委員一同、新たな視点を持ちながら議論を重ねてまいりました。

これまでも叱咤激励を含め、様々なご意見をいただいておりますが、その一つひとつが私たちの励みとなり、よりよい紙面づくりへの原動力になっています。新しいメンバーとともに、これからも一人でも多くの市民の皆様の手にとっていただける「議会だより」を目指して取り組んでまいります。(三上 周治)



広聴広報委員紹介
(後列左から)溝手宣良、柴田 敏、林 恭一郎
(前列左から)大月真一、川緒仁宣(副)、
三上周治(正)、竹下かなこ

議員の紹介ページは市議会HPから確認いただけます。(議席番号順)

